

三陸の海を
放射能から守る岩手の会
ミニコミ通信

第3号

止めよう！ 《再処理》

2005（平成17）年
6月28日発行

編集連絡 S.Oshida
電話・ファックス
019-623-1636

なぜ 放射能を大量に海洋に放出するのか？

六項目の質問書を提出

6月23日 六カ所村日本原燃（株）本社にて



**回答は
七月二九日まで
約束**
会談する本会会員
と動燃担当者

三陸の海を放射能から守る岩手の会は、六月二三日、永田文夫質問状担当代表と他二人の会員を、六カ所村にある日本原燃（株）本社に送り、会社担当者に面談し、再処理工場の海洋汚染に付いての質問書を提出しました。

原燃側からは広報企画グループ鈴木良典副部長、西村広報企画担当、他に二人が応接しました。

この会談には、青森の六カ所再処理工場反対一万人訴訟原告団や地元反対運動の六人が同行し、また、読売新聞、東奥日報、デリーー東北の三社の記者が取材を行いました。

私たちの質問状を受け取った原燃担当者、七月二九日に解答書を受け取りたいという私たちの要請を応諾しました。

質問書の主な内容

質問1、放射能を大量に海洋に放出することについて

●なぜ計画書にあるような大量の放射能を海に放出するのですか？

工場内で原子力発電所レベルまで下げて放出出来ないのはなぜですか？

●放出する核種のすべてについて年放出ベクレル数と、それが経口摂取した場合の年シベルト数をお知らせ下さい。

●極めて長い半減期の核種が多数含まれていますが、放出された場合、半永久的な放射能汚染が残るのではないのでしょうか？

●各核種が生命や生態系に与える影響について科学的に説明されていますか？

質問2 環境アセスメントについて

●六カ所から三陸沿岸についての海流の流れについてのデータをお知らせ下さい。とくに

放出液の月ごとの流れの予測をお知らせください。

●三陸沿岸の養殖物、栽培物、魚、天然の底生生物、海藻、海低土などについて環境影響調査を行いましたか？結果をお知らせ下さい。

●放射性核種が海底環境中でのように振る舞うのか、波しぶき、風の影響などもお知らせください。

●また生物にどのように濃縮するのか、お知らせ下さい。

質問3 監視測定について

●放出水の放射能測定項目とその回数、測定業者をお知らせ下さい。第三者機関の測定はありますか？国の立ち入り検査はありますか？

●子ども達をはじめ沿岸住民の健康診断は行いますか？DNAや遺伝子への影響調査は行いますか？

質問4 英仏における再処理工場周辺の被害について

多様な人々を集め 準備会開催

六カ所再処理工場が稼働した場合の三陸の海の大規模放射能汚染を警告した水口憲哉名誉教授（東京海洋大学）のリリース講演会準備会は、六月二四日夜宮古市

処理工場が稼働した場合の三陸の海への計り知れない被害について真剣な憂慮の声が出され、沿岸住民に真相を一刻も早く知らせ、正しい判断を下せるようにするべきであるとされました。そのために岩手の海を長年研究

い、代表に田村剛一氏（山田町議）を選出し、実施要領を確認しました。

宮古地区講演会は九月一日（木）宮古市民文化会館での開催とし、七月七日第一回実行委員会を開催します。みんなで広範な住民に周知さ

三陸の海を守れ

沿岸地区リリース講演会準備会開催 六・二四

久慈八月三十一日、宮古九月一日、高田九月二日予定

で開催されました。

集まったのは、漁協組合長や周辺市町村議員、生協関係者、市民など十数人。五月に盛岡講演会を行った。二人が出席しました。

一刻も早く多くの
人々に真相を

会議では、まず再

宮古地区講演会は

九月一日

宮古市民文化会館

宮古地区の参加者はさつそく、実行委員会結成を話し合

し、いち早く警告を発せられた水口憲哉教授の講演会に多くの住民の参加を得ることが必要であるとされました。

高田・久慈地区でも講演会実行委員会

また、八月三十一

日久慈地区、九月二日高田地区での講演会設定が確認され、圧倒的多数の住民を集め成功させる事が話しあわれました。

(N)

（一面からの続き）

●イギリス全土の子どもの歯の抜歯からブルトニウムが検出されているという報道があるがどう思いますか？



六カ所再処理工場
日本原燃正門から
六月二三日撮影

●北海や英仏海峡の海底土や再処理工場周辺

大阪 美浜の会代表 小山英之さんから連帯のメール

質問事項を拝見しましたが内容が実的確なのは当然として、同時に素直な疑問で、多くの人々にアピールするものだと思いました。

六カ所と三陸沿岸は

の海産物の放射能汚染が報道されているがどう思いますか？

●英仏の再処理工場から数十キロ離れた地点からも白血病やガンのがん率増加が報じられ政府も認めていますがこのようなことは日本でもあり得ると思いますか？

質問5 説明責任や 情報公開について

●三陸の海への影響について岩手県民に説明する予定はありますか？

●公開討論会を予定した場合参加頂けますか？

●再処理工場の情報公開をする予定はありますか？資料の請求の窓

口はどこですか？

質問6 「使用済み燃料」のアクティブ試験について

●アクティブ試験は今年一二月からの予定ですか？

●放射能を除去し、消滅出来る技術が完成するまで、アクティブ試験を延期してはどうですか？

●岩手県民、沿岸住民の理解と納得を得てからアクティブ試験に入るつもりはありませんか？

しかし六カ所放出地点から一旦下北海域に拡散した放射能が、親潮の壁と三陸沿岸に挟まれた狭い海域に収束するように流れれると思われま。三陸沿岸の等水深線を見れば、放射能が、沿岸にくっつくようにして流れる事は一目瞭然です。注目すべきは山田の定置網から、潮流調査ハガキが一枚帰ってきたことです。定置網の配置など詳しいことが分かったらお教えください。

(要約 O)